

各 位

平成18年9月28日  
近畿日本ツーリスト株式会社  
総務・広報部 担当：澤野井  
(TEL：03 - 3257 - 1661)

## 旅行取扱状況の概観（平成18年8月分）

海外旅行の取扱額をみると、学生団体は取り扱い好調で大きく前年を超えたが、一般団体の取り扱い低調が影響し、団体旅行合計は前年実績に届かず4ヶ月振りの前年比マイナスとなった。企画旅行は、ホリデイが好調に推移して前年実績を大きく上回ったため4ヶ月連続の前年比プラスと好調を継続している。個人旅行は夏の需要を取り込み、2ヶ月振りの前年比プラスとなった。

海外旅行合計は、団体旅行は伸び悩んだが、夏の主力の企画旅行の好調により、前年比104.9%と前年実績を上回り4ヶ月連続の前年比プラスと好調を維持した。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では、学生団体は前年実績を超え堅調であったが、一般団体は取り扱いを伸ばしたものの前年実績には届かなかったため、団体旅行合計では前年実績に僅かに届かなかった。企画旅行は、メイトの取り扱いが好調であったため、3ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。個人旅行は、JR券、航空券、宿泊券がいずれも取り扱い低調に加えて、前年愛知万博入場券取り扱いの反動もあり、合計では前年実績を大きく下回った。

国内旅行合計は、主力の企画旅行の好調により前年比101.7%と前月に続いての前年比プラスと堅調に推移した。

国際旅行は、取り扱いに伸びがなく前年比94.8%と前年実績を下回る結果に終わった。

8月の総取扱額は、国内・海外の企画旅行の好調により、前年比103.2%と前年実績を上回り4ヶ月連続の前年比プラスとなった。

### 1. 海外旅行

#### (1) 団体旅行

一般団体は、大型団体も少なく、イベント関係の取り扱い減少、その他団体の低調より前年実績を下回る結果に終わった。一方、学生団体は、海外研修旅行の取り扱いを中心に取り扱いを伸ばし大きく前年実績を上回った。方面別の取り扱いでは、中国、台湾、タイ、マレーシア、サイパン、グアムが2桁増と好調であった。

#### (2) 企画旅行

ホリデイは、取扱額前年比109.4%、取扱人数前年比109.9%と夏場の好調を継続している。方面別取り扱いでは、中国は前年から倍増。韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシアのアジア方面がそれぞれ2桁増と好調であった。

### 2. 国内旅行

#### (1) 団体旅行

一般団体は、イベント・コンベンション関連の取扱いは好調であったが、その他団体の取り扱いが低調で前年実績に届かなかった。学生団体は、研修旅行、学習合宿、各種大会等の取り扱い好調により、前年実績を大きく上回った。

#### (2) 企画旅行

メイトは遠距離商品の好調により、取扱額前年比105.6%、取扱人数前年比で99.7%と取り扱いを伸ばし好調であった。商品別の状況では、北海道、九州、沖縄の航空機利用コースと関西地区商品が好調であった。

(以上)